



## 会 議 報 告

会 議 名	第 7 期東久留米市市民環境会議第 9 回全体会
日 時	令和 3 年 3 月 24 日（水）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所	東久留米市役所 7 階 704A 会議室及び各委員自宅
出席委員	10 名
欠席委員	3 名
事 務 局	環境政策課長、生活環境係長、緑と公園係長、計画調整係主任、計画調整係主事
次 第	<p>●議事</p> <p>(1) 第 8 回全体会会議報告の確認</p> <p>(2) ZOOMを用いた活動報告会について</p> <p>(3) 令和 3 年環境フェスティバル参加について</p> <p>(4) 今期のこれからの予定</p> <p>(5) 来期の体制～活動の充実に向けて</p> <p>●報告・連絡事項</p> <p>(1) 座長より報告</p> <p>(2) 環境政策課からの連絡事項</p> <p>(3) 各グループからの連絡事項等</p> <p>(4) その他の連絡事項等</p>
配布資料	<p>1) 次第</p> <p>2) 【資料 1】 書面全体会（第 8 回）会議報告（案）</p> <p>【資料 2】 第 3 回情報交換会メモ</p> <p>【資料 3】 報告会開催の経緯と目的</p> <p>【資料 4-1】 水とみどりグループ報告</p> <p>【資料 4-2】 令和 3 年 3 月（湧水期）の湧水調査実施</p> <p>【資料 4-3】 桜めぐり（湧水・名木百選）ウォーキングチラシ</p> <p>【資料 5-1】 エコなくらしグループ第 15 回報告</p> <p>【資料 5-2】 エコなくらしグループ第 14 回報告</p> <p>【資料 6】 みんなでワークグループ報告</p>
内 容	<p>●決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・議事（1）書面全体会（第 8 回）会議報告（案）について了承された</li><li>・議事（3）第 25 回環境フェスティバルは動画、冊子による紹介方式に参加するが、動画を各グループ（3 分×3 グループ分）＋市民環境会議全体で 3 分の計 12 分。冊子を各グループ（1 ページ×3 グループ分）＋市民環境会議全体で 1 ページの計 4 ページ分とする形で参加応募できるのか。もしくは各グループと市民環境会議全体で動画 3 分、冊子 1 ページ分になるのかについての意見が出たので、事務局側がフェスティバル実行委員会の正副委員長に確認することとなった。</li><li>・環境フェスティバルとは別に市民環境会議として報告会を開催するかは今後も検討する</li></ul> <p>●議事に関する意見等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（2）については本日、ZOOM環境と会議室に集まったの会議の開催となった</li></ul>



・(3) について

- ・フェスティバル実行委員の鈴木委員から、3月16日に行われた委員会で話し合われた内容（開催形式、スケジュール等）の説明あり。その後、事務局より、実行委員会の後日、正副実行委員長で話し合われた内容について、下記表に示すとおり修正、補足説明。

参加団体の募集	4月1日(木)～4月12日(水)まで
動画、冊子の原稿の提出	5月12日(水)まで
冊子の印刷製本、チラシの印刷委託及び動画の編集委託	5月18日(火)
編集動画の納品	6月3日(木)
市広報への「環境フェスティバル」掲載	6月15日(火) ※地域によって15日より前に配布される
冊子、チラシの配布、動画の配信	6月10日(木)

※当初は6月下旬を目指すとしていたが、市広報が6月10日頃に配布される予定であることから、それに合わせて動画配信や冊子、チラシの配布をすることを決め、6月10日からの開催となった。

- ・市民環境会議としてフェスティバルとは別にパネルを常設展示できないかという意見が出たが、フェスティバルは展示無しである一方、市民環境会議のみパネル展示するのは公平性や整合性が取れないので難しい。

・(4) 今期のこれからの予定

- ・みどり東京助成金にて市民が選んだ名木百選の冊子（170部）が3月末に完成する。
- ・第7期の委員は7月末までの任期であり、第8期は8月からとなることから、委員の募集広報は7月1日号に載せる。
- ・今期までに何をしなければならないか、来期に継続していくものは何かを考えなければならない。都市マスのアンケートにおいても50～60%の市民が水と緑に関心を持っている。一方で、暮らしについて関心を持っているのは20%ほどであるのと、プラスチックゴミ問題も無視できないことを考えると、そちらにも重点を置いていきたい。クリーンな街とするため、市民環境会議と行政が一体となって何ができるかを提言していければと思う。
- ・大気や土に関することも含め、来期に多くの市民が委員として加わってくれることを願う。
- ・地球環境に関することを来期に向けて、残りの任期を活動していくのはどうか？
- ・市民環境会議としてフェスティバルとは別に発信の場（プラザで1週間ほどのパネル展示）を設けたい。
- ・市側の上承あれば行いたい、フェスティバルとの整合性が必要と思われる。

・(5) 来期の体制～活動の充実に向けて

- ・(4) に絡めて、報告書の作成をしていく。

●報告・連絡事項

- ・環境政策課より、来年度予算の説明



	<ul style="list-style-type: none"><li>・みどり東京助成金は来年度も同額が交付される。</li><li>・第三次緑の基本計画策定及び生きもの調査費用の予算を計上している。</li><li>・柳窪天神社周辺及び黒目川源流域の一部についてみどりの基金を活用して購入する予算を計上している。</li><li>・各グループからの連絡事項は資料4から6のとおり</li><li>・その他、4月1日付の人事異動の内示が出され、生活環境係長及び計画調整係主任が異動となる。</li><li>・<u>委員より意見</u><ul style="list-style-type: none"><li>・<u>環境審議会の議事録は早めに市ホームページで公開してほしい。公開までに時間がかかるなら、市民環境会議の活動と関係のあることが審議されていたときは、口頭でもその情報を流してほしい。</u></li></ul></li></ul>
--	--